

第1項

市民文化の振興



目標	子どものころから音楽、絵画、書など文化や芸術に親しむ豊かな感性をはぐくむまち	
数値目標	美術館などの利用者数	2005年度 67万人
		2011年度 74万人

取り巻く環境(現状と課題)

市民の文化活動に対するニーズの増大

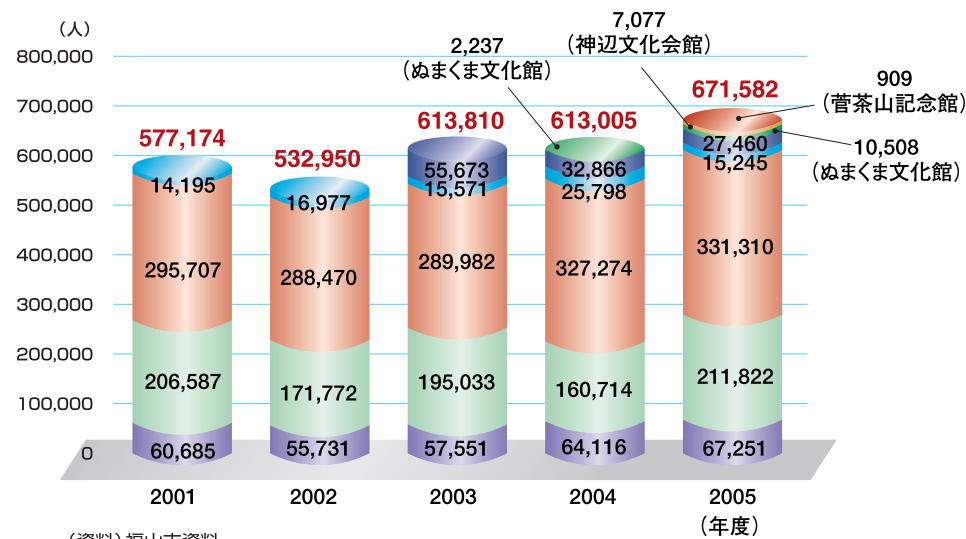
文化や芸術は、創造力や感性が豊かな人をはぐくみます。これまで以上に展覧会の開催や発表の機会の提供など、市民の文化活動への支援が必要です。

歴史・文化の重要性の増大

「福山らしさ」を表すものとして福山市の歴史や文化は重要です。本市の政治、産業、文化などの歴史を後世に伝えるため、歴史的資料の収集や保存、活用を進める必要があります。

美術館などの利用者数の推移

- 菅茶山記念館
- 神辺文化会館
- ぬまくま文化館
- ふくやま書道美術館
- ふくやま文学館
- ふくやま芸術文化ホール
- ふくやま美術館
- 福山城博物館



(資料) 福山市資料

「目標」を達成するための取組

文化活動の振興

優れた文化芸術に親しむ機会の充実や自主的な活動の支援などを行います。また、文化活動団体の支援や文化を担う人材の育成に努めます。

- 文化活動の促進
- 文化活動団体・人材育成の充実

文化環境の整備

文化施設と調和したまちづくりや施設の有効活用を進めるなど、だれもが多彩な文化活動に親しめる環境を整備します。また、歴史的に重要な文書の保存・活用に努めます。

- 文化的な都市形成の創出
- 文化施設の整備・活用
- 美術品・資料の収集
- 市史の編さん、歴史的文書の保存



ぬまくま文化館(枝広邸)



ふくやま美術館



ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ)



ふくやま文学館

市民として



文化や芸術に親しみましょう。

第2項

文化財の保護と活用



目標 文化財を大切にし、子どもたちに引き継ぐまち

数値目標	歴史民俗資料館・博物館の利用者数	2005年度	36,605人
		2011年度	40,000人

取り巻く環境(現状と課題)

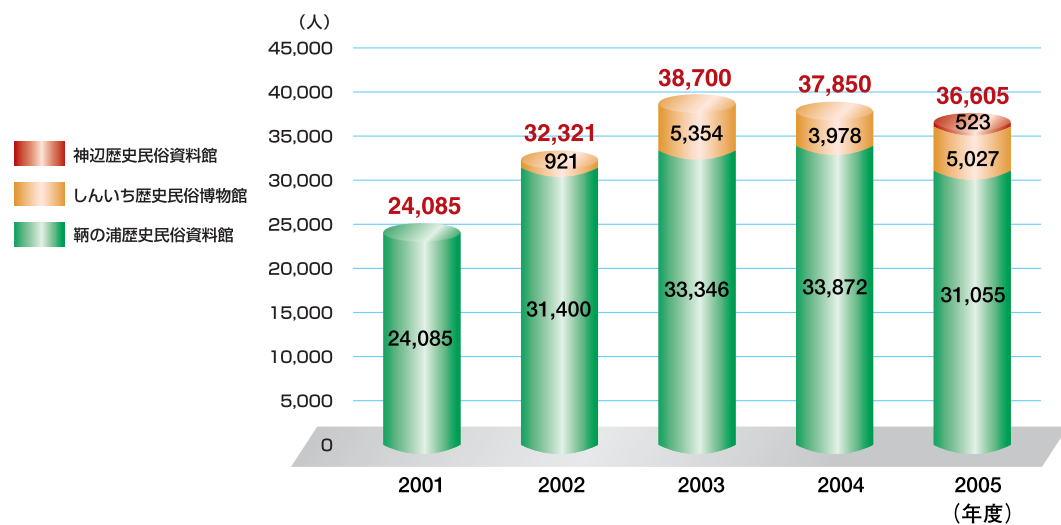
文化財の損失に対する不安の高まり

文化財は、地域の歴史、文化への理解を深めるための市民の貴重な財産ですが、まちの発展とともに埋蔵文化財や歴史的建造物、民俗資料の損失などが心配されています。

文化財保護意識の高まり

貴重な文化財の保存に努めながら、広く市民に公開するなど啓発活動を充実させ、文化財保護意識を高める必要があります。

歴史民俗博物館・資料館の利用者数の推移



(資料) 福山市資料

「目標」を達成するための取組

保存体制の整備・充実

各種文化財の保存や管理、活用を行うとともに、埋蔵文化財や民俗文化財の調査・収集を進めながら、博物館・資料館などの保存施設の整備に努めます。

- 文化財の調査体制の確立
- 文化財の指定・保護の推進
- 文化財の展示・保存施設の整備と資料収集

文化財の保存・管理と活用

鞆地区の町並み保存や福山城跡、二子塚古墳の保存整備などを計画的に実施するとともに、情報の提供や学習機会の充実に努めます。

- 鞆地区の町並み保存の推進
- 指定文化財の保存・管理
- 文化財の活用
- 文化財に対する保護意識の啓発



二子塚古墳



明王院



吉備津神社



廉塾・菅茶山旧宅

市民として



「文化財は、私たちの財産である」という意識を持ちましょう。